

開催日	開催分類	開催タイトル・詳細	参加者数	必須参加者の参加率 (参加者数および%)	講習実施者	開催形式	内容
2025/04/04 (金)	第1回学部教員会議	教員向けLBA活用法	教員28名 職員6名	77.14%(27名/35名)	近松 忠昭（教務部）	オンライン開催	LightblueAssistantの機能紹介と教材制作、学生サポートにどのように活用できるか発表された。 ・授業制作や小テスト制作についてどのようなプロンプトで実行するとよいか ・搭載しているモデルごとにどのような目的で使用するとよいか 発表後は質疑応答の時間を設け、実際に使用した教員から機能に関する質問の他、活用に関する情報共有が行われた。
2025/04/18 (金)	大学の理念と目的の共有	サイバー大学建学の理念・経営理念・教育目的	教員36名 職員20名	100%(30名/30名)	川原 洋（学長）	オンライン開催	サイバー大学の建学の理念、経営理念、教育目的について説明があった。建学の理念は「場所や時間など個人の環境や条件を問わず、勉学に意欲のある多くの人に幅広く質の高い学修の機会を提供し、社会の形成者として有能な人材を育成する」であり、経営理念は「情報革命で人々に学習の機会を」であることが確認された。また、三つのミッションステートメントとして、1完全インターネットによる教育機会提供、2IT分野での社会人のリカレント教育、3「Cloud Campus」構想が掲げられていることが説明された。 2025年度春学期の入学人数や在校生数が共有され、特に卒業生の科目等履修主が増加していることが説明された。
2025/04/18 (金)	研究推進ガイダンス	2025年度研究費ガイダンス	教員35名 職員15名	94.6%(35名/37名)	藤田 礼子（研究推進課長）	オンライン開催	教員向けに、研究推進に関する講習として下記の説明が行われた。 ・2025年度 研究関連スケジュール ・学内、学外研究費の詳細 ・大学の責任体系 ・研究倫理ガイド ・2024年度教育研究活動費実績報告 学内研究費を活用することで教員の教育研究環境を改善し、教員自身が研究倫理を理解することで学生への研究倫理教育に活かすことを目指し、ガイダンスは実施された。
2025/04/18 (金)	第2回学部教員会議	リメディアルWGからの報告	教員30名 職員5名	82.86%(29名/35名)	大塚 帯紀（教務部）	オンライン開催	専任教員向けに、2025年度春学期新入生向けに実施した「基礎力診断テスト」の受験状況と、リメディアルの取り組み状況について報告された。 基礎力診断テストの受験状況では、受験のためにどのような奨励を行い、結果としてどの程度が受験を完了したか報告し、平均点等学生の得点状況についても報告がされた。 同時にリメディアルの受講を推奨した学生についての動向を注視し、継続して指導していく必要があること、基礎力診断テストの結果が芳しくない人についても追跡していく必要があること等が共有された。 質疑応答では、情報科目のテストの内容について意見交換が行われ、テスト内容の改善について議論がなされた。
2025/04/23 2025/04/24 2025/04/25	研究推進ガイダンス	研究費執行に関する説明会	教員34名 職員3名	100%(24名/24名)	藤田 礼子（研究推進課長）	オンライン開催	研究費（科研費、学内研究費）を採択されている教員に対し、コンプライアンス教育・研究倫理教育を兼ねた、本学での研究費の執行ルールについて説明を行った。 ・公的研究費の不正とは ・公的研究費の不正防止に関する取組 ・本学での取り組み ・本学の研究費執行ルール ・質疑応答 新規の研究費採択者はいなかったため、具体的な研究費執行ルールに重点をおいて説明を行った。
2025/05/16 (金)	第3回学部教員会議	ゼミナールの統一評価規準について	教員33名 職員5名	91.43%(32名/35名)	橋本匡史（IT総合学部）	オンライン開催	ゼミナールの統一評価規準について専門教務主任から下記内容が発表された。 ・ゼミ全体ではなく「期末の評価（期末レポート等を含む期末時点の総合評価）」に関する共通基準 ・ディプロマ・ポリシーの5能力に対応 ・成果物そのもの+成果物から判断できるプロセスも評価対象 ・各ゼミで内容に合わせてアレンジ可 発表後は質疑応答を設けて、5能力の「観点」の共通化、共通FMTの定型、プロセス評価等の点で議論が行われた。

FD活動実績（2025年度）

最終更新：2026年3月31日

開催日	開催分類	開催タイトル・詳細	参加者数	必須参加者の参加率 (参加者数および%)	講習実施者	開催形式	内容
2025/05/29 (木) 2025/7/28 (月) 2025/8/12 (火)	授業設計講習会	「行動経済学」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 長島雄平 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第3回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。
2025/06/06 (金)	第4回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員33名 職員5名	91.43%(32名/35名)	藤澤弘美子 (IT総合学部) 松本幸子 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「データサイエンス」「ソフトウェア」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 各教員の発表毎に質疑応答を設け、課題レポートの形式等の点で議論が行われた。
2025/06/11 (水) 2025/7/8 (火) 2025/9/24 (水)	授業設計講習会	「デジタルマーケティング論」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 長島雄平 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第3回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。
2025/06/20 (金)	第1回FD研究会	授業運営における生成AIの活用について	教員34名 職員6名	91.89% (34/37名)	大江 信広 (教授)	オンライン開催	授業における生成AIの活用について、以下の点から具体例を挙げて解説し、意見交換を行った。 1. 授業運営においてすでに実施している活用例 2. 授業運営での活用のヒント 3. 教育業界の事例 4. 業界に共通した生成AIを利用する上での重要なポイント 研究会終了後にアンケートを実施し、研究会への参加形式、理解度等、また授業運営における生成AIの活用状況、生成AI活用による授業運営の質向上・効率化の度合い、活用したい場面等について調査し、集計結果を共有した。 →開催報告「2025年度第1回FD研究会を開催しました」 https://www.cyber-u.ac.jp/information/y250715.html
2025/07/04 (金)	第6回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員30名 職員5名	82.86%(29名/35名)	池田大樹 (IT総合学部) 中島俊治 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「ネットワーク」や「ソフトウェア」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に ・授業でどのような工夫をしているか 各教員の発表毎に質疑応答を設け、演習環境、エンゲージメントの強化等の点で議論が行われた。
2025/07/31 (木)	授業改善コンサルティング	SDGs入門_新規開講科目振り返りレポート	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 君塚奈音 (メディア開発部)	オンライン開催	新規開講の初学期終了を受けて、授業評価アンケート結果の確認、受講率や単位修得率、課題の正答率を確認し、課題や改善点がないかを確認した。 小テストで気になる点を修正を行う方針としつつ、講義自体は数学期様子を見て判断することとなった。
2025/08/01 (金)	第8回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員30名 職員5名	82.86%(29名/35名)	松尾寛子 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「アカデミックライティング」授業を担当している教員1名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 発表後は質疑応答の時間を設けて、課題の評価方法等で議論が行われた。

開催日	開催分類	開催タイトル・詳細	参加者数	必須参加者の参加率 (参加者数および%)	講習実施者	開催形式	内容
2025/08/27 (水) 2025/10/22 (水) 2025/11/26 (水)	授業設計講習会	「地理学入門」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 村瀬亜樹 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第3回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。
2025/09/05 (金)	第2回FD研究会	本学のアクティブ・ラーニング実践と今後	教員29名 職員5名	78.38% (29/37名)	笹川 駿平 (ID課長)	オンライン開催	笹川ID課長より、アクティブ・ラーニングの解説とともに、本学での事例と課題を報告。採点の簡素化・負荷軽減が主論点。質疑ではグループ評価の公平性や欠員対応、リーダー負担、相互評価、出題工夫、Googleフォーム+AIによる一次採点などが提案された。Slackでも継続的に意見を募集。安間学部長より、従来を活かし柔軟に新規取組を進め学生主体性を促すと総括。
2025/09/05 (金)	授業改善コンサルティング	生成AI概論_新規開講科目振り返りレポート	教員2名 職員1名	100% (2名/2名)	笹川駿平 (メディア開発部)	オンライン開催	新規開講の初学期終了を受けて、授業評価アンケート結果の確認、受講率や単位修得率、課題の正答率を確認し、課題や改善点がないかを確認した。 小テストで気になる点を修正を行う方針となった。 資料の翻訳についての改善要望が複数あったため、少しずつ日本語の修正を行い、用語のずれもアップデートしていくということになった。
2025/09/10 (水)	授業改善コンサルティング	政治学入門_新規開講科目振り返りレポート	教員2名 職員2名	100% (2名/2名)	笹川駿平 (メディア開発部) 君塚奈音 (メディア開発部)	オンライン開催	新規開講の初学期終了を受けて、授業評価アンケート結果の確認、受講率や単位修得率、課題の正答率を確認し、課題や改善点がないかを確認した。 小テストで気になる点を修正を行う方針となった。講義自体は高評価だったためこのまま継続とすることになった。
2025/10/09 (木) 2025/11/27 (木) 2026/1/15 (木)	授業設計講習会	「脳科学入門」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 君塚奈音 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第3回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。
2025/10/17 (金)	第13回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員33名 職員6名	94.29%(33名/35名)	石川秀樹 (IT総合学部) 大江信宏 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「AI」や「経営」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 発表後に質疑応答の時間を設けて、eラーニングでの学習意欲向上施策、生成AIの課題への使用可否等の点で議論が行われた。
2025/11/07 (金)	第14回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員31名 職員3名	88.57%(31名/35名)	和久井ふみ (IT総合学部) 浅田麻菜 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「データサイエンス」や「英語」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 発表後に質疑応答の時間を設けて、(英語の) グループレッスン、科目内に複数ある掲示板の使い分けの点で議論が行われた。
2025/11/19 (水) 2025/12/22 (月) 2026/1/26 (月) 2026/2/16 (月)	授業設計講習会	「中国語基礎Ⅰ、中国語基礎Ⅱ」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 松井智子 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2,3回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第4回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。

開催日	開催分類	開催タイトル・詳細	参加者数	必須参加者の参加率 (参加者数および%)	講習実施者	開催形式	内容
2025/12/05 (金)	第16回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員31名 職員7名	91.18%(31名/34名)	井上麻里 (IT総合学部) 白須洋子 (IT総合学部) 北村森 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「経営」と「英語」に関する授業を担当している教員3名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 発表後に質疑応答の時間を設けて、自己紹介投稿、英語が苦手な学生への対策、同一教員が担当する教養科目と専門科目の連続性の点で議論が行われた。
2025/12/19 (金)	第17回学部教員会議	リメディアルWGからの報告	教員31名 職員6名	91.18%(31名/34名)	池田大樹 (IT総合学部)	オンライン開催	専任教員に向けて、2025年度秋新入生向けに実施した、リメディアルWGの取り組み状況について教員1名から下記内容が発表された。 ・リメディアルコース合格基準と成績 ・新入生向け奨励メール配信報告 ・入学判定審議会リメディアル受講指摘者対応報告 ・基礎力診断テスト結果・分析 ・基礎力確認テスト 発表後に質疑応答の時間を設けて、学生の現状、リメディアル教材受講後の確認、受講後の学修状況の分析等の点で議論が行われた。
2025/12/24 (水) 2026/1/28 (水) 2026/2/25 (水)	授業設計講習会	「経営戦略論」制作における新任教員への授業設計ガイダンス	教員1名 職員2名	100% (1名/1名)	笹川駿平 (メディア開発部) 村瀬亜樹 (メディア開発部)	オンライン開催	本学で初めて科目制作を行う教員に3回にわたって授業設計および科目制作のガイダンスを実施した。 第1回では、授業設計の考え方と設計書への入力方法 第2回では、設計内容の確認と提案、意見交換 および 本学における授業スライドや課題作成方法のガイダンス 第3回では、サンプルとして教員が作成したスライドおよび課題の内容確認と修正提案。
2026/1/8 (木) 2026/3/24 (火)	授業運営講習会	2025年度秋学期 専門科目 授業運営講習会	教員3名	100% (3名/3名)	橋本匡史 (IT総合学部)	オンライン開催	2026年度春学期から新たに授業を担当する新任教員（専任3名）向けに開講前授業運営講習会を実施した。 ・CloudCampusの設定 ・大学の基本制度、学事スケジュール ・単位取得条件、成績評価ルール ・開講前の準備 ・学期中の履修奨励
2026/01/16 (金)	第18回学部教員会議	本学の教養教育について	教員33名 職員4名	91.43%(32名/35名)	小野邦彦 (IT総合学部)	オンライン開催	本学の教養教育について、教養教務主任から下記内容が発表された。 ・教養カリキュラムの概要 ・単位修得率と「サイレント」の実態 ・授業評価アンケート(講義科目)の「満足度」の傾向 ・教養4分野の目的の策定 発表後に質疑応答の時間を設けて、教養4分野の目的の策定の内容や公開、教養科目と他の分野の科目との結びつき等の点で議論が行われた。
2026/02/02 (月)	授業改善コンサルティング	キャリア入門_新規開講科目振り返りレポート	教員2名 職員2名	100% (2名/2名)	笹川駿平 (メディア開発部) 松井智子 (メディア開発部)	オンライン開催	新規開講の初学期終了を受けて、授業評価アンケート結果の確認、受講率や単位修得率、課題の正答率を確認し、課題や改善点がないかを確認した。 小テストで気になる点を修正を行う方針となった。講義自体は高評価だったためこのまま継続とすることになった。
2026/02/06 (金)	第19回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員29名 職員2名	82.86%(29名/35名)	末永光弘 (IT総合学部) 吉田裕季 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「セキュリティ」と「アカデミックスキル」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・学生が科目を受けることで何を学べるか ・科目で学んだことを何に活かせるか ・授業での工夫点 発表後に質疑応答の時間を設けて、量子コンピュータ、受講奨励での工夫、Zoom交流会の参加者、ステップ型課題での注意点、インストラクターの活用、生成AIの利用等の点で議論が行われた。

開催日	開催分類	開催タイトル・詳細	参加者数	必須参加者の参加率 (参加者数および%)	講習実施者	開催形式	内容
2026/02/20 (金)	第3回FD研究会	授業評価アンケートと成績データに基づく授業評価の構造分析	教員30名 職員2名	81.08% (30/37名)	橋本匡史 (IT総合学部)	オンライン開催	橋本専門教務主任より、授業評価アンケートと成績データに基づく授業評価の構造分析について報告。満足度や成績の背後にある因果関係の解明と、具体的な授業改善のヒントの提示が主論点。分析の結果、プレゼンテーション品質の向上が学習体験を高め、結果として満足度や成績向上につながる事が示され、スライドや口頭説明の不満への優先的な対処、課題への適切なフィードバック、お知らせやオフィシアワーの活用などが有効と提案された。今後の方向性として、学習体験のKPI設定やベストプラクティスのTips集共有などが挙げられた。最後に、アンケート分析を継続的な授業改善や新たな施策の検討につなげていくことが重要と総括。
2026/03/04 (水)	授業改善コンサルティング	社会学入門_新規開講科目振り返りレポート	教員2名 職員2名	100% (2名/2名)	笹川駿平 (メディア開発部) 梶原大輔 (メディア開発部)	オンライン開催	新規開講の初学期終了を受けて、授業評価アンケート結果の確認、受講率や単位修得率、課題の正答率を確認し、課題や改善点がないかを確認した。 小テストで気になる点を修正を行う方針となった。 講義スライドの1枚当たりの情報量が多いという改善要望があったため、内容の変更や具体例の追加などを徐々に行っていく方針となった
2026/03/06 (金)	第21回学部教員会議	科目ピア・レビュー	教員29名 職員2名	82.86% (29名/35名)	瀧田佳奈子 (IT総合学部) 田中頼人 (IT総合学部)	オンライン開催	本学で行っている授業について、「キャリア教育」と「テクノロジー」に関する授業を担当している教員2名から下記内容が発表された。 ・ 学生が科目を受けることで何を学べるか ・ 科目で学んだことを何に活かせるか ・ 授業での工夫点 発表後に質疑応答の時間を設けて、未履修者の把握や受講奨励での工夫、資格試験の勉強とランダム出題による小テストとの関係、回答結果のAIによる分析等の点で議論が行われた。